

令和5年度 シラバス

教科	国 語	科目	発展古典	単位数	2	履修学年	3	学科・コース	普通科・文系クラス																																
教科書	「精選古典B」 古文編（東京書籍） 「精選古典B」 漢文編（東京書籍）			副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版） 体系古典文法（八訂版）（数研出版） 漢文必携（四訂版）（桐原書店） 古文単語 3 3 0 （いいずな書店）			担当者	館																																
1. 科目の目標				2. 学習の進め方や留意点			3. 評価の観点と函中コンピテンシー																																		
（1）古文において、構造、構成、展開に即して内容を的確に捉え、語彙を豊かにし、人間、社会、自然に対する思想や感情を考察しながら、我が国の伝統と文化について理解を深め、作品を読み味わう力を身につける。 （2）漢文において、構造、構成、展開に即して内容を的確に捉え、語彙を豊かにし、人間、社会、自然に対する思想や感情を考察しながら、我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深め、作品を読み味わう力を身につける。 （3）近代以前の様々な文章を読み味わい、作品の価値について考察するとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする力を養い、それらを自分の中に取り込むことによって、精神生活を豊かにする態度の育成を図る。				（1）普段は教科書、ノートを使います。古文の時は「体系古典文法」、「古文単語 3 3 0」、漢文の時は「漢文必携」を使用します。 （2）随時小テストや記述問題を出題します。 （3）評価・評定 5段階で評価します。 ・1・2年生・・・前期末考査後に「評価」 学年末に1年間の「評定」 がつきます。 ・3年生・・・定期考査後に「仮評定」、学年末に1年間の「評定」 がつきます。 *評定が1の場合、単位の修得は認められません。 *観点別評価はA、B、Cの3段階で評価します。 <table><tr><th>達成度</th><th>評価・評定</th></tr><tr><td>特に高い程度に達成</td><td>5</td></tr><tr><td>高い程度に達成</td><td>4</td></tr><tr><td>おおむね達成</td><td>3</td></tr><tr><td>やや不十分</td><td>2</td></tr><tr><td>不十分</td><td>1</td></tr></table>			達成度	評価・評定	特に高い程度に達成	5	高い程度に達成	4	おおむね達成	3	やや不十分	2	不十分	1	<table><tr><td></td><td>知識・技能</td><td>思考・判断・表現</td><td>主体的に学習に取り組む態度</td></tr><tr><td>傾聴力</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>思考力</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>先見力</td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	傾聴力	○		○	思考力	○	○		協働力		○	○	先見力		○	
達成度	評価・評定																																								
特に高い程度に達成	5																																								
高い程度に達成	4																																								
おおむね達成	3																																								
やや不十分	2																																								
不十分	1																																								
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																																						
傾聴力	○		○																																						
思考力	○	○																																							
協働力		○	○																																						
先見力		○																																							

4. 学習計画と評価規準

月	単元・学習内容	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	【古文1】堤中納言物語	8	・「堤中納言物語」の読解ができるよう、古文単語や和歌の基本知識を持つことができる。	・女の態度や歌が男を改心させたことを理解できる。	・「堤中納言物語」に興味を持ち、他の章の読解など発展的な学習を進めようとしている。
5	【古文2】源氏物語玉の御櫛	6	・「本居宣長」と「源氏物語」に関する基礎知識を持つことができる。	・筆者の論ずる「もののあはれ」に対する理解を深め、「蓮」と「泥水」の例えを理解できる。	・「源氏物語」の世界に興味を持ち、古のものの感じ方を理解しようとしている。
	前期中間考査	【14】	【評価方法】定期テスト・小テスト	【評価方法】定期テスト・小テスト	【評価方法】観察・提出物
6	【漢文1】赤壁之戦	4	・「三国志」の時代背景を理解しており、漢文を読むために必要な語句や文法の基礎知識を持つことができる。	・孫権が曹操に敵対するまでの経緯を理解し、その後の出来事の経過を正確に把握できる。	・「三国志」の世界に興味を持ち、更に発展的な学習を深めようとしている。
7					
8	【漢文2】長恨歌	8	・唐の玄宗皇帝と楊貴妃の関係と「安史の乱」について基礎的な知識を持つことができる。	・楊貴妃の死までの経過と冥界での楊貴妃の心情を理解できる。	・「長恨歌」の朗読、読解を通じて、漢詩を鑑賞する態度を深めようとしている。
	前期期末考査	【12】	【評価方法】定期テスト・小テスト	【評価方法】定期テスト・小テスト	【評価方法】観察・提出物

9	【古文3】雨月物語	8	・近世の文章の特徴を押さえて、読むために必要な語句や文法の基礎知識を持つことができる。	・登場人物の人物像と心情を読み取れることができる。	・「近世」の文学や、庶民の価値観を理解し、人物の心情に共感しようとしている。
10	【漢文3】諸子百家	8	・「諸子百家」のうちで、代表的なものについて、基本的な知識を持つことができる。	・各思想家の諸説を正しく読み取り、「儒家」、「道家」、「兵家」、「法家」の思想の違いについて理解できる。	・各思想家の主張について、自分の判断と照らし合わせて、自分の生き方に活かそうとしている。
11	【古文4】古事記	6	・「古事記」の成立過程についての基本的な知識を持つことができる。	・人物の心情、地名由来、言霊について理解し、歌謡を正しく理解できる。	・古代の様子や当時の人々の考え方を理解しようとしている。
後期中間考査		【22】	【評価方法】定期テスト・小テスト	【評価方法】定期テスト・小テスト	【評価方法】観察・提出物
12	【演習】共通テスト対策	4	・古文、漢文の論旨を掴むための基礎的な語句、文法の知識を持つことができる。	・古文、漢文の論旨を正しく把握できる。	・共通テストに向けて、自分の苦手分野を把握して、弱点を克服しようとしている。
		【4】	【評価方法】 ・定期テスト・演習問題	【評価方法】 ・定期テスト・演習問題	【評価方法】 ・観察・提出物・演習問題の取り組み状況
合計（1 h→6 5分）		5 2 h			